

## 1. 日本租税理論学会 2021年度研究大会・総会・役員（理事）会プログラム

### (1) 開催日程

本年度(2021年度)の研究大会・総会は、企画運営委員会と事務局とが大会幹事と相談のうえで慎重に検討した結果、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、以下のとおり、インターネットでのZoomを使った完全オンライン方式による開催(2日間)に変更いたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、役員(理事)会は、本年度は研究大会・総会の当日に開催いたしますので、ご注意ください。

#### ①役員(理事)会

2021年10月30日(土) 11時50分～12時50分

2021年10月31日(日) 11時50分～12時50分

(両日11時40分からZoom接続可能)

#### ②研究大会・総会

2021年10月30日(土) 10時30分～17時30分

(10時からZoom接続可能)

2021年10月31日(日) 9時30分～15時40分

(9時からZoom接続可能)

\* 開催主体(ホスト)は、今年度も、昨年度同様、日本租税理論学会事務局内に設置した情報メディア事務センターとなります。当初予定しておりました名城大学には会場を設けませんので、ご注意ください。

### (2) 役員(理事)会の開催

本年度(2021年度)の役員(理事)会は、Zoomを利用した完全オンライン方式により行います。役員(理事)会での配布資料およびZoomへのアクセス方法や諸注意、URL、ID、パスワードについては、各理事・監事あてに、事前に電子メールにより招待状を送付し、ご案内いたします。

### (3) 研究大会・総会の開催

本年度の研究大会・総会は、Zoomを利用した完全オンライン方式によるライブ配信で行います。

#### ① 報告者のレジメ

報告者のレジメは、昨年度(2020年度)と同様に、学会ホームページ(HP)の各報告者のタイトルの下にPDF処理してアップし(貼り付け)、会員がそれぞれダウンロードの上、プリントアウト(印刷)できるようにいたします。

各報告者は、遅くとも10月18日(月)までに、レジメを学会事務局メールに添付してご送付ください。また、報告時に報告者ご自身でZoomの「画面共有」機能を使用される場合は事前に事務局にご連絡ください。

## ② 研究大会・総会への参加手続

本年度の研究大会・総会への参加は、今回電子メールアドレスをご連絡いただいた会員については、Zoomへのアクセス方法や諸注意、URL、ID、パスワードをその電子メールアドレスに電子メールによる招待状にてご案内いたします。したがって、すでに電子メールアドレスを学会事務局に提供されている会員は、本年度については別途参加の申込み手続は不要とします。また、もし研究大会・総会に参加を希望される会員で、電子メールアドレスを学会事務局にご連絡いただけていない場合は、ご自身の電子メールアドレスを、至急学会事務局あてに電子メールでご連絡ください。メールアドレスを変更された場合も同様です。

なお、事務局から招待状でお知らせしたZoomのアクセスURL、ID、パスワードは、会員本人のみが使用し、絶対に他の方にメール転送したり、知らせたりしないでください。

## (4) 研究大会・総会：シンポジウムのテーマと報告タイトル・報告者

### ●講演「コロナ禍における内部留保と課税」([レジメはここをクリック](#))

講演者： 谷江 武士 氏 (名城大学名誉教授)

### ●シンポジウムのテーマと報告タイトル・報告者

司会： 望月 爾 (立命館大学法学部教授)

木村 幹雄 (愛知大学経営学部准教授)

テーマ：「災害・デジタル化・格差是正と税制のあり方」

報告タイトルと報告者

#### ①「東日本大震災被災自治体の復興格差とポスト復興の財政課題

—地方税からのアプローチ」([レジメはここをクリック](#))

報告者： 栗田 但馬 会員 (岩手県立大学総合政策学部教授)

#### ②「AI・ロボット税の導入論議」([レジメはここをクリック](#))

報告者： 泉 絢也 会員 (千葉商科大学商経学部准教授)

#### ③「デジタル課税における知的財産権の評価」(仮題) ([レジメはここをクリック](#))

報告者： 谷口 智紀 会員 (専修大学法学部教授)

#### ④「適格請求書等保存方式への移行と電子インボイスの課題」(仮題) ([ここをクリック](#))

報告者： 山元 俊一 会員 (税理士)

#### ⑤「格差拡大を加速させるインボイス制度」([レジメはここをクリック](#))

報告者： 松井 吉三 会員 (税理士)

#### ⑥「アメリカ EITC のノンコンプライアンスにおける法的問題点 —最近の裁判例を検討素材として—」([レジメはここをクリック](#))

報告者： 道下 知子 会員 (青山学院大学法学部准教授・税理士)

#### ⑦「経済のデジタル化と課税をめぐる国際協調と米国の税制改革」([レジメはここをクリック](#))

報告者： 篠田 剛 会員 (立命館大学経済学部准教授)

### ●一般報告(自由論題)と報告者

司会： 望月 爾 (立命館大学法学部教授)

#### ①「課税所得計算調整制度の日米比較」([レジメはここをクリック](#))

報告者： 倉見 智亮 会員 (西南学院大学法学部教授)

(5) 研究大会・総会：スケジュール

●第1日目 10月30日(土)

- 10時00分：受付開始 (Zoomへのアクセス)
- 10時30分～10時40分：開会 (理事長挨拶、開催校連絡事項)
- 10時40分～11時40分：一般報告① (報告40分・質疑20分)
- 11時50分～12時50分：昼食休憩／理事会
- 13時00分～14時00分：講演 (講演40分・質疑20分)
- 14時00分～14時10分：休憩
- 14時10分～14時50分：シンポジウム報告①
- 14時50分～15時30分：シンポジウム報告②
- 15時30分～15時40分：休憩
- 15時40分～16時20分：シンポジウム報告③
- 16時20分～17時00分：シンポジウム報告④
- 17時00分～17時30分：総会

●第2日目 10月31日(日)

- 9時00分：受付開始 (Zoomへのアクセス)
- 9時30分：開会
- 9時30分～10時10分：シンポジウム報告⑤
- 10時10分～10時50分：シンポジウム報告⑥
- 10時50分～11時00分：休憩
- 11時00分～11時40分：シンポジウム報告⑦
- 11時50分～12時50分：昼食休憩／理事会／質問票回収
- 13時00分～15時30分：シンポジウム質疑討論 (途中10分休憩)
- 15時30分～15時40分：閉会

**\*今後の日程の変更等については、学会ホームページでお知らせしますので、大会当日までしばらくの間、随時閲覧をよろしくお願いします。**

なお、本年度は事前の通信テストを行いません。ネット/オンライン対応が難しい方や不安がある方は、ご自身でお知り合いの会員にサポートをお願いするか、事務局に申し出てください。会員より申出があれば、事務局から最寄りの会員へ連絡のうえサポートを依頼いたします。

\*大会当日のZoomに接続の際には、お名前がわかるように表記していただきますようお願いいたします。なお、日本語表記を基本としますが、英語表記でもお名前が判別できれば構いません。

## 2. 学会機関誌について

学会機関誌／租税理論研究叢書 31号『企業課税をめぐる内外の諸課題』は、現在出版準備中（来月10月中旬に刊行予定）ですので、しばらくお待ちください。なお、2021年分会費を納入いただいた会員から刊行次第、郵送いたします。

## 3. 会費の納入のお願い

2021年分会費を納入されていない会員の方は、年内にお振込みをお願いいたします。未納の会員には、再請求書/ゆうちょ銀行の払込用紙を同封いたしますので、こちらをお使いください。なお、お振込みが、再請求書と行き違いになりましたら、何卒ご容赦ください。

また、学会費は、会員9,000円、準会員4,000円ですが、ご納入して頂いた金額は、未納の年度がある場合、古い年度の未納会費から順次充当されますのでご了承ください。

## 4. 各種手続きについて

学会ホームページに、日本租税理論学会への入会、退会、住所変更など各種手続きのフォーマット（様式）がありますので、そのフォーマットに記入し、学会事務局あてにメール（または郵便）にてご連絡ください。

## 5. お詫び

大変申し訳ございませんが、手続きの日程の都合上、本年は各税理士会の認定研修なしとさせていただきます。次年は、各税理士会への手続きを行う予定です。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

### 【送付書類】

- 会報第63号（本状） 1部  
 再請求書/ゆうちょ銀行払込票（未納会員のみ） 1枚（複数年未納の方は複数枚）

本学会への問い合わせは、事務局へお願いいたします。

日本租税理論学会事務局

【住所】 〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1

立命館大学法学部共同研究室内（望月 爾）

【TEL】 (075) 465-8177

【FAX】 (075) 465-8294

【E-Mail】 info@j-ast.com

【HP】 <http://www.j-ast.com/>